

子育てワンポイントアドバイス

今月のテーマ
家庭でできる食中毒予防

暖くなるこれからの季節は、食中毒が発生しやすくなります。特に、子どもは抵抗力が弱いので食中毒になりやすく、症状が重くなることもあります。今回は、“家庭でできる食中毒予防”のアドバイスです。



アドバイス1 食中毒
しっかり火を通す
食品を加熱する場合は、中までしっかり火を通しましょう。

アドバイス2 食中毒
手は清潔に
調理や食事をする前には、必ず手洗いをしましょう。

アドバイス3 食中毒
捨てる勇氣
時間がたち、少しでも怪しいと思った食品は、思い切って捨てましょう。

注意 食品への農薬混入
食品への農薬混入による食中毒事件が発生しています。農薬は過剰に摂取すると、嘔吐・めまいなどの中毒症状を起こします。乳幼児は少量でも大変危険です。未開封の容器やふたに穴が開いていたり、開封された形跡がある場合は飲食しないようにしてください。

農薬の豆知識 ポジティブリスト制度
平成18年度から日本で取り入れた制度で、安全と認められた65種類以外、すべての農薬について、食品への残留量が規制されるようになりました。

まちづくり情報館

地域の活動は、市民自治の出発点。厚別区で行われているまちづくり活動や団体などを紹介します。



▲北星学園大学チアダンス部 STARRYS (スターリーズ)

▲あつべつ街ネット第5号

“リアル”な「あつべつ街ネット」開催!

厚別区では、区内の市民活動団体を紹介する情報誌『あつべつ街ネット』を発行しています。今年、第5号の完成を機に、情報誌の掲載団体が一堂に会する交流会「あつべつ“リアル”街ネット」を、厚別区まちづくり協議会との協働で初めて開催しました。

交流会には15団体40人が参加し、活動発表として、北星学園大学チアダンス部

によるダンスが披露されるなど、にぎやかな雰囲気の中、活動への理解を互いに深め合いました。後半の交流会では、初めて会う団体同士が、まちづくりについて熱心に話し合い、協力できる点を探したりと、積極的に情報交換していました。

まちづくり協議会の田中昭夫代表は「団体同士が交流する機会がないため、今回このような場を作りました。生の話を聞くことで、冊子では伝わらない団体の姿を知るきっかけになれば」と話します。

活動している人が実際に会い、交流することで、まちづくりのネットワークは確実に広がりを見せています。皆さんも“リアル”なまちづくり活動を始めてみませんか?



▲田中昭夫代表



▲情報交流会の様子